

米国西部法会での説法

李洪志

二〇〇〇年十月二十一日 サンフランシスコにて

お久しぶりです！（拍手）

拍手をやめて、先生の話を楽しみましょう。

この宇宙の如何なる生命も如何なる次元で自分の法、法理、果位を証明し悟ったとしても、自ら証明し悟ったものがこの宇宙で立脚し、自らの威徳を樹立できるかどうかを確認するためには、正真正銘の厳しい試練を経験しなければなりません。ですから全ての生命は修煉している時、我々の今日のようなことに遭遇するはずですが、ご存知のように、釈迦牟尼佛在世中、イエス在世中、及び他の正教、正法などが伝えられている時にこのようなことに遭遇したのです。このような試練があるわけです。これがこの宇宙の理なのです。しかし、我々の大法の場合、皆さんに教えますが、如何なる人にも大法を試す資格はありません。全ての生命、宇宙にある全ての生命は皆大法に切り開かれ、創造され造成されたのです。ですから誰でも大法を試す資格はありません。（拍手）

しかし、我々はどうしてこのようなことにぶつかるのでしょうか。ご存知のように、李洪志は常人の表現形式で、常人の身体として、全宇宙の生命の最も低い言葉——人間の言葉しかも人類の今日の最も浅薄な言葉及び修煉の最も低い形式——気功という方式を用いてこのことをしているために、宇宙の全ての衆生を迷わせたのです。宇宙全ての衆生の心性の位置を判定し、彼らを配置し直すために、彼らの本当の心性の基準を表出させなければなりません。ですから、真相を知らせてはいけません。全宇宙の全ての生命も真相を知らないのです。彼らは私を修煉の人と勘違いしたため、敢えてこのようにしたのです。昔皆さんに話したことがあると思いますが、今までこの宇宙の法が衆生に知られていないため、私は法を正しているのだと言いました。しかし、彼らは私も悟るためのものを造っているに過ぎず、ただ非常に純正で次元が非常に高いものだと思っています。彼らから見れば、このような程度のものにとどまっています。これは今日彼らが敢えて我々にこの災難をもたらした原因です。つまり更なる高い果位とこれほど大きな法にはこれほど大きな災難が必要です。しかし、逆にいえば、災難を引き起こさせなければ、起こることもあり得ないのです。私は彼らが按

排した一切を利用して彼らの心性を見ているのです。この出来事は歴史上において彼らが既にはるか以前に按排していたのです。人類の歴史は繰り返しているものです。彼らにもこれほど大きな法が伝えられているのは由々しき一大事だとは分かっていないのです。前期の人類は既に一つのこのような実験を経験したのです。しかも今期の人類よりも更なる発展を遂げたのです。結局環境の汚染で人類の畸形を引き起こし、最終的に消滅されました。これは前回の人類です。今回は前回のことを繰り返していますが、正真正銘に法を正しています。つまり相当久しい昔から既にこの出来事を按排したのです。このことがずれのないように、今日のことの問題がないように、あるシステムを立てたのです。彼らの理念によると、今日起こった出来事、出現したことは既に彼らが按排したのです。その過程に偶然なことは一つもありません。常人の中で偶然に見えても、常人の中において常人の形式として現れても、間違いなく彼らに按排されたのです。彼らの言葉でいうと、一人の神だけで地球にある全ての衆生的一切にずれがないように按排できるということです。無数の神、多くの神はこの出来事を見つめています。間違いなどは許されるのでしょうか。前進の道にある如何なることも間違いがないのです。しかし、これはやはり私が先ほど言った旧宇宙の神が按排したのです。彼らはこの全てを壊滅する勇氣はありません。彼らにも宇宙がこれから直面することが分かっているからです。彼らにも私が行なっていることが分かっているのです。しかし、一体私が誰なのかは彼らも知りません。ですから、彼らは自分のやろうとすることを段取りしたのです。皆さんお分かりになったでしょうか。(拍手) 彼らが現れた目的は我々の大法に威徳を樹立させようとするところにあります。法によって全宇宙の生命が真に法の威徳を敬重するようにしたいとしているのです。表面上、これは彼が按排した全ての目的ですが、かえって法を正す過程の妨害になったのです。私は彼らが必ずそうすると知っています。そして、私はちょうど彼らが按排した全ての出来事で彼らの心性を量り、彼らの位置を配置し直すのです。我々全ての人は修煉の過程で個人修煉と法を正すこととの関係を正しく認識しなければなりません。皆さんが経験した魔難と試練をどう捉えればいいのでしょうか。皆さんに教えますが、もしある人にそれほどの業力がなければ、絶対それほど大きな難も現れてきません。個人の修煉と邪悪の勢力が大法を破壊することとは別のことです。この全ての按排が大法にもたらした妨害、強制的に私と大法に何かを加えようとすることは決して認めたいけません。これは当時イエスが迫害され、釈迦牟尼の弟子が迫害されたこととどこが違うのでしょうか。彼らはこの一切に責任を負わなければならない、しかも必ず責任を負うのです。皆さんにこのようなことを話したことがあります。佛とはなんなのでしょうか。如来は真理を踏まえて意のままに来ており、それは世間の人々が名付けた呼称です。しかし正真正銘の佛は宇宙の保護者であり、宇宙の全ての正の要素に責任を負うのです。ですが、この出来事において、彼らも彼らが宇宙の法から外れた後の心

性の位置を充分表したのです。彼らの不純な一面を充分さらしたのです。そのため、多くの出現すべきでないことや各種の妨害が現れたのです。これは今日自らを修煉している学習者の心性の表れと非常に似ています。宇宙の衆生は皆法を正す過程に置かれており、表れた全ては人間としての面に表出しているかもしれません。それは私が人間のいるところでこのことを行なっているからです。我々大法の弟子が受けた苦痛、魔難ですが、皆さんに教えますが、それは個人の修煉のためにあっただけではなく、高次元の生命が学習者の業力と向上を口実に低次元の腐敗した生命を利用し、迫害を加えることによって大法を試練しているという要素もあります。実は法を正すことにとってそれは破壊なのです。皆さんは人間によってもたらされた魔難を受けているだけではありません。皆さんに修煉によって出来上がった一面もあり、皆さんは偉大な神ですので、極めて高い次元の神も皆さんに試練を与えています。ですから、今日の出来事は前代に先例のない、史上にもないこれほど大きな魔難です。これは我々修煉者の角度から認識しているのです。しかし、逆にいえば、誰にでも大法に試練を与える資格はありません。しかし、彼らはやってしまいました。そうしたらそれは彼らの罪です。彼らは自ら行なった全てのために償わなければなりません。私はただ概括的にこの状況を話しただけです。先ほど言ったように、私は彼らのしでかしたことを利用して彼らの心性を見極めることによって彼らの位置を考えると同時に、圓滿成就する弟子を試しているのです。しかも彼らは最も邪悪な生命を利用してこの全てをしています。

師父として、この出来事は非常に大きな魔難とぶつかりましたが、これは皆さんが法を正す時期と共にいたからです。如何なる歴史上の時期或いは将来の修煉の人もこれほど大きな魔難に出くわすことはありません。もちろんそれは皆さんではなく、未来の人です。彼らはただ個人の修煉に過ぎず、皆さんは法とつながっているのです。

過去の一年来私は様々な理由で何も言いませんでした。何も言わなかったのですが学習者は非常によくやりました。つまり私のいない状況下でも皆さんはよく行なうことができたのです。素晴らしいです！自分を修煉者と見なしている傍ら、堅実に大法を守っています。本当に偉大です！これは皆さんが法に則ったからです。これは皆さんが自らを修煉者と見なしたからです。これは常人にはできないことです。常人には絶対できません。これは人類の歴史上になかったことです。我々を迫害している邪悪な勢力が我々を壊滅しようとするのはおろか、歴史上にもこのようなことはなく、人間にはこのような能力もありません。誰かが大法を迫害していても、それは人間が神と闘っているのです。最後の結果は一目瞭然です。もちろん、これらの一連のことによって、学習者はこのことに対する認識が更にはっきりとなりました。特に魔難の

初期の時の差異は大きかったのです。震え上がった人もいますが、「李洪志は一体どのような人なのでしょう」、「この法は正なものなのでしょう」と考える人もいました。人の全ての心に対して全面的に試しました。あなたはどんな心で大法を始めたにもかかわらず、あなたのその心に対して試したのです。大法のここが良かった、そこが良かったと思う人はいますが、今度の試練は無情です。あらゆる常人の心も天に持って行ってはいけないからです。

歴史上あれこれの修煉がありました。皆さんに教えますが、人は修煉して圓滿成就したことはありません。なぜでしょうか。副元神は三界に入らず、三界以外でミクロのところから人の身体を操っているのです。一人の人間が元の所に戻ろうとしても全くあり得ないことです。歴史上に一回もありません。しかし、今日法を正す過程に、皆さんにそれほどの縁があるのでもなく、偶然だけでもなく、しかし皆さんはそれと出あったのです。皆さんは本当に元に戻ることができるのです。(拍手)

如何なる次元からの神であっても、三界に入ったら永遠に元のところに帰ることができなくなります。これは揺るぎないことです。これも歴史上誰も敢えて明かしたことの無いことです。なぜならこのことは人類を壊滅に導くからです。もし人間に真相が分かったら、何の望みもない生命はどんな悪事でも働いてしまうのです。しかし、我々の大法はやり遂げ、しかもやり遂げることができ、この役割も果たしたのです。ですから、私は皆さんに真相を教えました。(拍手)

我々の学習者は、本当に素晴らしい。この前の時期に皆さんは法を正すためにやるべきことを多くしました。今は多くの人には世間の人に真相を伝えるために多大な努力をしています。大法の弟子として、宇宙大法の一つの粒子として、皆さんはこうすべきです。大法が人に破壊されている時、もちろん誰もこの法を破壊することはできないのですが、宇宙の法がどうして人に破壊されてしまうのでしょうか。誰も破壊できません。しかし、大法が誰かに破壊されている時、弟子として大法の一つの粒子として、あなたはどう行動すべきなのでしょう。真相を話し、人々に本当のことを知らせるべきではありませんか。これはあなたの角度から言っているのです。あなたは大法の一つの粒子ですので、この役目を果たすべきです。

もし他の角度から言えば、皆さんに教えますが、皆さんが今日行なっている全ては宇宙の全ての神、既に正された神にしてもまだ正されていない神にしても、皆私たちがあまりにも慈悲であると言っています。(拍手) ご存知ですか。邪悪は天地を覆うようにやってきたこの時期に多くの人々が悪毒の虚言、世を欺く虚言に欺瞞され、恨

む気持ちで大法と私の弟子に対処したのです。このような人は未来淘汰されるに決まっています。しかしこのような状況の下であっても、我々が真相を伝えることによって彼は事実が分かり、もとの考えと悪念を捨てることができたなら、その人は助けられるかもしれません。(拍手) 世間に真相を伝えることは政治闘争に参加しているのではなく、何かのことに對してやっているではありません。皆さんに教えますが、これは皆さんの慈悲です。これは皆さんが本当の意味で未来の人を済度しているのです。(拍手) もしその人の考えが変らなければ、皆さん考えてください。その人はもうおしまいです。一人の学習者として、一人の修煉者として、慈悲の角度からにしてもこれはすべきことだと思います。真相を人々に教え、これも人を救うことになります。

またこの機会を借りて、我々及び私個人に表彰を授けてくださったアメリカ及びカナダの各級政府に感謝の意を表したいと思います。(拍手) この特殊な時期ですから私は皆さんにお礼を申し上げに行くことはできませんが、私は必ず彼らに未来の輝きをもたらします。(拍手) 表面上我々は世間の人に大法への支持を求めています。これは人間のこのところに表した世間の人々の考えです。実はその反面、このことは逆になっています。大法を支持し、大法を肯定的に宣伝した人は自らの未来に生命の存在を切り開き、未来に法を得るための基礎を築いたのです。(拍手)

言いたいことはいっぱいあります。あまり多くしゃべりたくありませんが、ある時期、表に出て来て正式に皆さんにこれらのことの経緯をはっきりと話したいと思います。(拍手) しかし皆さんに教えますが、全ての表に出てきた弟子の皆さん、ありがとうございます。(拍手) 素晴らしいです！(拍手)

私たちの全ての人々は大法のために、法を正し、広めるため、真相を伝えるためのことをしています。天安門に行っても、中南海に行っても、それぞれの環境で人々に真相を伝えているにしても、私たちは政治闘争に参加しませんでした。なぜかというと、邪悪は我々を迫害しなければ、人々に真相を伝えるなどの必要もありません。現在の上申と真相を伝えることも他人を妨害していると思われないのです。不公平に扱われている時、自らを表すのは人間としての最も基本的な権利です。

もちろん、この出来事を通して学習者一人一人の心性の位置がはっきりと分かりました。しかしいずれにせよ、この出来事の最初の頃に皆厳粛な思索の過程を経験しました。これは間違いとはいえません。これはあなたに考える機会を与えているのです。李洪志は一体どのような人でしょうか。この法は本当に正なのでしょうか。人間から

脱皮し、ここまで歩んでこられた人々は、皆さんに教えますが、既に乗り越えてきたのです。(長い拍手) 皆さんが既にご存知のように、当時は本当に天地を覆うような邪悪の勢力でした。相当強かったのです。これらのものは既に消滅されたのです。

(拍手) ただ邪悪の人がまだ残っており演じているだけです。しかも全て正念のある人、私たちの学習者を言っているのではありませんが、全て正念のある常人も今このことに反対しているのです。今まで邪悪は人々を抑制していたからです。この邪悪が一掃された後、皆目が覚めたのです。この一切を新たに判断し見ているのです。虚言、虚像は一つ一つ明かされています。

本来たくさん言いたいことがありましたが、皆さんに聞きたいことも多くあるかと思えます。このようにしていいかどうか、あれは正しいかどうかなど。皆さんに教えますが、全体的に皆正しいのです。細かいこと、具体的なことに対してまだ判断できませんが、圓滿成就に向かっている過程で全てうまく行われると思えます。(拍手) この一年来、事実も証明したように、私のいない時でも皆さんは確かによくやりました。確かによくやりました。非常に良かったのです。(拍手) 幾つかの些細な問題と個人の問題が現れましたが、それは大法を代表することができません。それも按排されたことです。必然的なことだと言ってもいいのですが、本当は按排されたものです。いつ、誰がどのように行動するか、ある時期でこの人はこうなるとか、拘留所でずっとよく頑張ってきましたが、結局引っくり返ってやめてしまい、更に別の人を説得しようとするなどなど。皆さん考えてください。これは偶然でありえますか。如何なることも偶然ではないかもしれませぬ。一人の修煉の人に対して修煉の過程に最後の一步まであなたへの根本的な試練があるのです。真に修煉している弟子は試練で落ちてしまう人は一人もいません。

話はここまでにします。機会があれば詳しく皆さんに話します。(拍手) 邪悪な勢力に命を奪われたにしても、拘留されたにしても、求刑されたにしても、様々な状況で苦痛に耐え、流浪し落ち着き先もない学習者、海外や他の環境にいる学習者、皆さんが大法のためにやり遂げた全ては既に皆さんの威徳を築き上げたのです。最後の一步までしっかり歩んでください。更によく行ない、正真正銘に圓滿成就することを期待しています。ありがとうございます。(拍手)